

EDF の米国子会社が V2G 技術開発の Nuvve 社に投資

2017.12.21



堀 雅夫

フランスの電力会社 EDF の米国子会社の EDF Renewable Energy 社（EDF RE）が、サンディエゴ本拠の V2G（自動車・系統間の双方向電力流通）技術開発の新興企業「Nuvve」社のシリーズ A 資金調達への投資を完了したと 2017 年 12 月 18 日発表した。この投資には豊田通商も参加している。

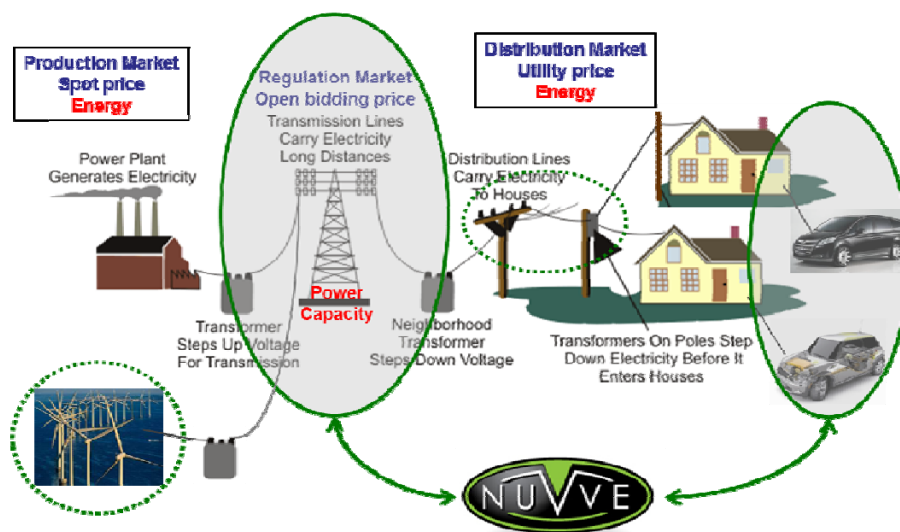
Nuvve 社は、V2G 研究のパイオニアであるデラウエア大学の Willett Kempton 教授が共同創立者になっている会社で、自動車電力による電力系統へのアンシラリー・サービスとその対価による自動車保有費用の低減など、自動車・電力系統の統合プラットフォームの実用化技術開発を行っている。

Nuvve 社の事業には、パートナーとしてデラウエア大学、ENEL（イタリアの大手電力会社）、PSA（フランスのプジョー・シトロエングループ）のほか、日本の日産自動車と日立製作所が加わっている。米国での研究開発のほか数年前から欧州で進めている V2G 実証試験にも参加している。

12 月 18 日の EDF RE 社のプレス発表では、今回の資本提携によって、Nuvve 社の実証済の技術を活用して電力系統運用機関や規制機関と協力のもと系統のアンシラリー・サービスへの V2G 利用の加速を期待するとしている。

また、米国ではエネルギー省（DOE）の音頭で多くの企業が勤務先充電（Workplace Charging）インフラの整備を進めているが、これに V2G による充電電と太陽光発電を組み合わせることによって企業の充電コスト負担の低減が可能になるとしている。

なお、Nuvve 社は最近カリフォルニアエネルギー委員会（CEC）からカリフォルニア大学サンディエゴ校の V2G 実証計画支援のために \$4.2M（約 4.8 億円）の資金助成を受けており、EDF RE 社は米国で分散型電力貯蔵（DES）のビジネスを今年から始めて最近カリフォルニアの電力会社 PG&E から 40MWh の Behind-the-Meter（需要家サイド）電力貯蔵のプロジェクトを単独受注している。

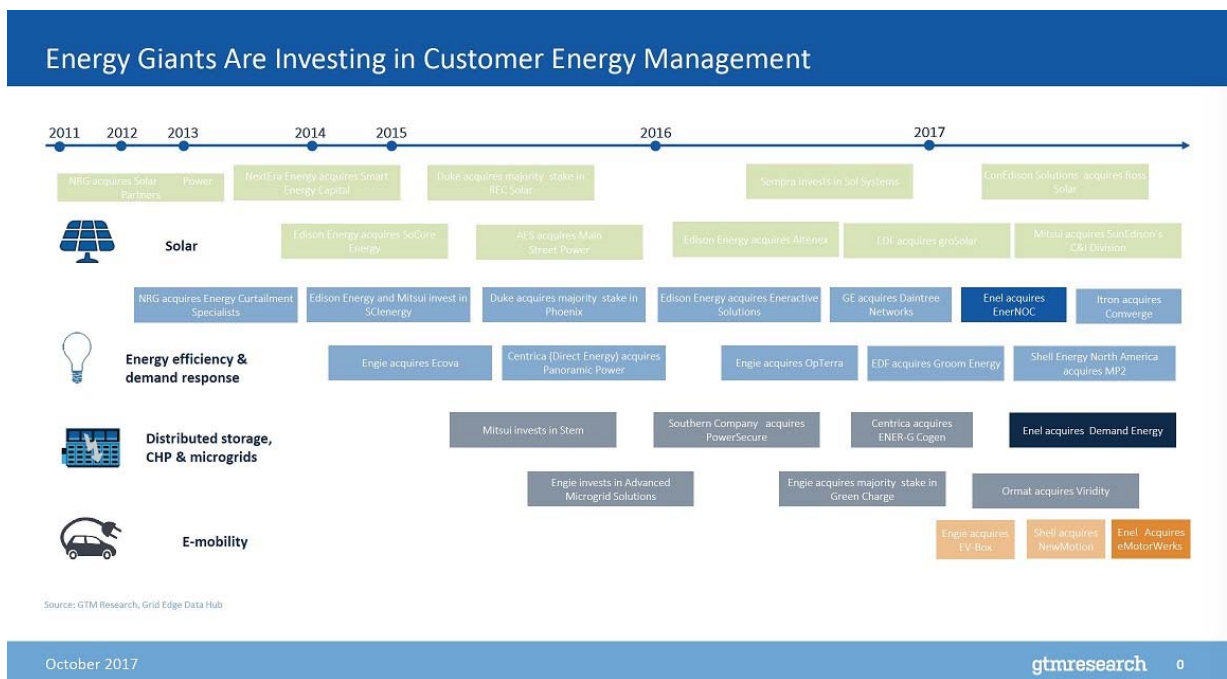


参考：“EDF Renewable Energy Closes Series A Investment in Vehicle-to-Grid (V2G) Start-up”
<https://www.edf-re.com/edf-renewable-energy-closes-series-investment-vehicle-grid-v2g-start/>

[コメント]

数年前から「Grid Edge」と呼ばれる電力系統の電力供給側と需要側の境界領域に対する電力会社などの大企業の投資・参加が増えてきている。

ここきて、自動車電動化を見据えて VPP や V2G など自動車電力利用の開発実証事業への国内外の電力会社・自動車会社・商社などの投資・参画が急になってきている。



参考：“What Is Grid Edge?”

<https://www.greentechmedia.com/articles/read/what-is-the-grid-edge#gs.pqycJlk>

“European Utility Giants Are on a Grid Edge Shopping Spree in 2017”

<https://www.greentechmedia.com/articles/read/european-utility-giants-are-on-a-grid-edge-shopping-spree-in-2017#gs.76=Kcko>

以上